

<h2 style="text-align: center;">玄海原子力発電所</h2>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 分野 産業 </div>
	◎地図・写真・統計資料など
<p>玄海町今村に立地している玄海原子力発電所は、日本で9番目、九州では初めての原子力発電所として昭和50年に営業運転を始めた。発電所の施設は、東松浦半島から玄界灘に突き出した値賀崎の87万㎡の敷地に設置されており、原子炉格納容器、原子炉補助建屋、タービン建屋等の施設が岩盤上に設置されている。現在1号機から4号機までの計4基が運転を行っており、電気出力は1・2号機が各55万9千kW、3・4号機が各118万kW、合計347万8千kWは九州最大、日本では6番目の規模の原子力発電所となっている。なお、4号機は全国で52基目、日本における20世紀最後の原子炉。これらの原子炉の種類（型式）はいずれも加圧水型軽水炉（PWR）と呼ばれるもので、原子炉を通過してきた高温高圧水を蒸気発生器に送り、そこで別系統を流れている水を蒸気に変えてタービンに送る方法である。</p> <p>1号機…昭和46年3月建設工事に着手、昭和50年10月15日営業運転開始 2号機…昭和51年6月建設工事に着手、昭和55年3月30日営業運転開始 3号機…昭和60年8月建設工事に着手、平成6年3月18日営業運転開始 4号機…昭和60年8月建設工事に着手、平成9年7月25日営業運転開始 なお3号機は、平成21年12月2日国内初のプルサーマル営業運転を開始した。</p>	<div style="text-align: center;">  <p>遠見ヶ岳から見た原発</p> </div>
<p>◎エピソード・伝承・うんちく など</p> <p>2011年3月11日の福島原発事故のあと今後の動向が注目されている。 (この記述は2012年3月現在です。)</p>	<p>◎引用・参考文献（出典）</p> <p>◎もっと詳しく知りたい方は</p> <p>唐津市近代図書館へ お問い合わせください。</p> <p>■電話：0955-72-3467</p> <p>■ホームページ： http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html</p>